

令和2年度 学校評価アンケートの結果について

1 肯定的評価が高かったもの

16の質問項目のうち、次の9項目は特に肯定的評価が高く、生徒、保護者、教職員の肯定的評価が概ね8割以上となりました。

1. 『わかる』を実感できたり、『考え方』を学べる授業が行われている。(生徒88%、保護者78%、教職員100%)
2. 宿題や週末課題の量は学習の定着をはかるのに適切である。(生徒80%、保護者75%、教職員84%)、
3. 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣に関する指導は適切である。(生徒94%、保護者86%、教職員78%)
4. 部活動は、目標をもって主体的に取り組んだ。(生徒80%、保護者77%、教職員97%)
6. 交通安全、薬物防止、健康管理等についての講話は効果的である。(生徒90%、保護者89%、教職員82%)
7. 教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが必要なときに相談に応じてくれる体制ができている。(生徒93%、保護者88%、教職員97%)
8. 『生活アンケート』の実施など、学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。(生徒92%、保護者75%、教職員100%)
9. 閉庁日や夜間電話自動応答など、学校として働き方改革に取り組んでいる。(生徒86%、保護者85%、教職員78%)
10. 学校は、HPの更新、学校PR活動等積極的に広報活動している。(生徒90%、保護者88%、教職員91%)

これらの結果から、おおむね、現在の八王子北高校の教育に関する取り組みについてある程度の評価をいただいているのだと感じています。特に「1. 『わかる』を実感し、『考え方』を学べる授業が行われている。」については、今もかなりの評価をいただいておりますが、さらに生徒の皆さんの学校生活が充実するように学校としてさらに取り組んでいきたいと思っております。今後も慢心することなく、さらに評価される学校を目指して参りたいと思っております。

2 肯定的評価を今後さらに伸ばしたいもの

かなりの肯定的評価はいただいたものの、今後さらに評価を伸ばしたい、学校として活動に力を入れていきたいものが次の2項目です。

5. 探究的学習により、考える力が身についた。(生徒80%、保護者64%、教職員97%)

11. 八王子北高校は知り合いに薦めたい学校である。(生徒90%、保護者81%、教職員72%)。

特に「1. 「わかる」を実感し、「考え方」を学べる授業が行われている。」については、生徒と教員からは高い評価をいただいておりますが、保護者の評価がやや低い状況です。今後、保護者に「探究」の意義と成果を示し、理解してもらえよう取り組んでいく必要があると考えています。

3 肯定的評価がやや低く、改善へ取り組む必要があるもの

肯定的評価がやや低かったのが次の1項目です。

12. 生徒は Good Try! に積極的に取り組んでいる。(生徒74%、保護者62%、教職員63%)。

こちらについては、始めたばかりであり、まだ生徒に浸透していないため、生徒に意識させていくことが重要と考えています。積極的に取り組んで参りたいと思っております。

4 地域の皆様による評価

全体的に肯定評価が増加傾向にあり、特にゴミ拾いやあいさつ、学校生活の様子に評価の言葉をいただきました。また、自転車の乗り方、登下校のし方、学校の情報発信等について課題をご指摘いただきました。改善へ向けて努力して参ります。